

高松市レンタサイクル事業の 現状と今後の展開について



イルカカード

高松市 都市整備局
交通政策課
課長補佐 多田 也寸志



人口：42万人

面積：375 km²

- 瀬戸内海に面し、温暖・少雨
- 傾斜が緩い地形



自転車利用が多い





① 導入の経緯

地域特性

日常の交通手段として自転車利用が盛んなまち

- 平坦な地形
- 温暖少雨な気候

社会問題

- 路上放置による通行障害
 - 歩行者通行の妨げ
 - 歩行者と自転車とが錯綜し危険
- 都市景観の阻害
 - 路上や、駐輪禁止区域隣接道路に
多数の放置自転車

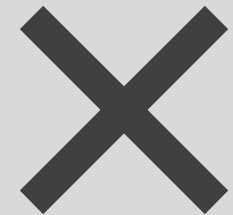


解決方法

■ 駐輪場を潤沢に設ける

懸念される
問題点

- 駅前広場等の土地の限りによる、駐輪場設置場所確保の困難さ
- 土地の価格に見合わない利用形態
- 駐輪場増設に伴う、放置自転車処分費の増大



■ 放置自転車を活用したシェアリング

- 中心部における自転車総量のコントロール
- 撤去した放置自転車の有効活用

中心部における放置自転車を減らすための対策

H13.5～ レンタサイクル事業開始



② 概要

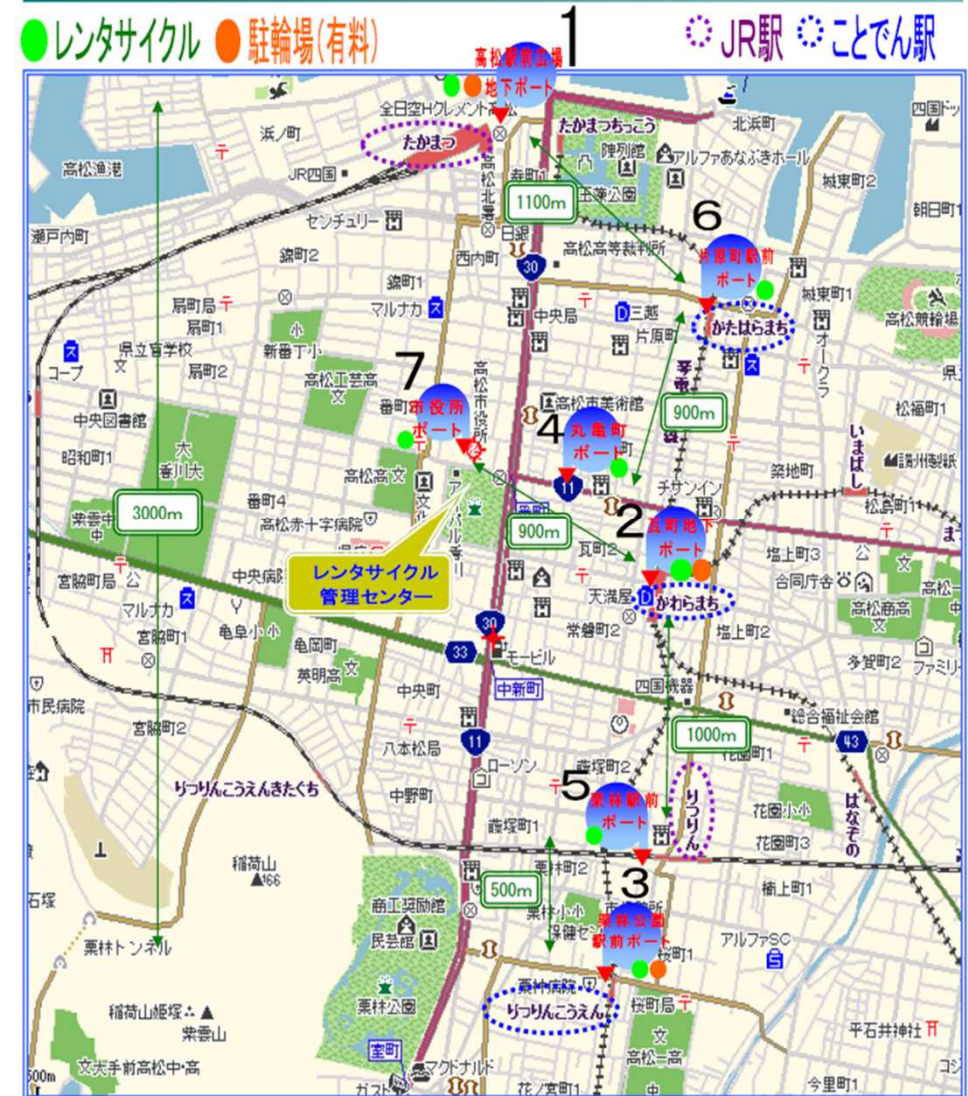
◆ポートの整備

番号	ポート名	収容台数	整備年	備考
①	JR高松駅地下	550	H13	有人 (市営駐輪場併設)
②	琴電瓦町駅地下	350	H13	
③	琴電栗林公園駅前	70	H16	
④	丸亀町	100	H24	無人
⑤	JR栗林駅前	80	H14	
⑥	琴電片原町	50	H20	
⑦	市役所	50	H17	
計		1,250		

◆時間及び料金

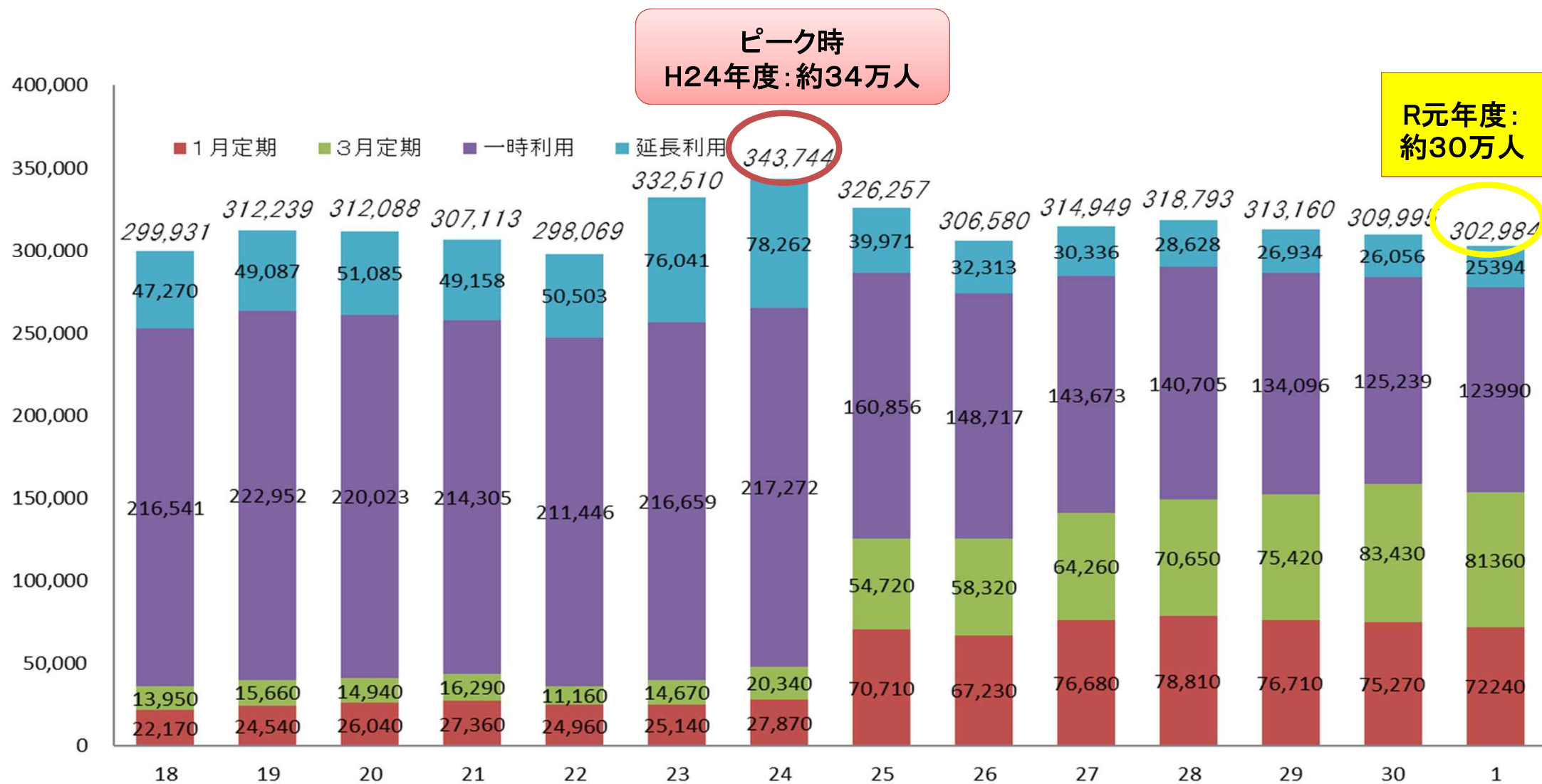
営業時間	7時～22時(有人23時)年中無休		
利用料金	一時利用	6時間以内	100円
		6時間～24時間	200円
		以後24時間ごとに	200円
	定期利用	1ヶ月	2,000円
		3ヶ月	5,500円

高松市レンタサイクル7ポート 位置図





③ 利用状況





④ 高松市の現状

◆レンタサイクルシステムの更新

- ・現行システムは平成23年度から運用し、約10年経過
- ・経年劣化により、ゲートやシステムの更新時期を迎えている。

◆収支状況

- ・利用料収入は、伸び悩み傾向
- ・一方で、支出は、利用料収入を大きく上回る

◆民間事業者の参入

- ・平成30年7月から、高松市内で民間会社((株)穴吹ハウジングサービス)が、シェアサイクル事業を開始



レンタサイクル事業を取り巻く状況の変化により、
事業存続の危機に直面



(レンタサイクルの出入口)

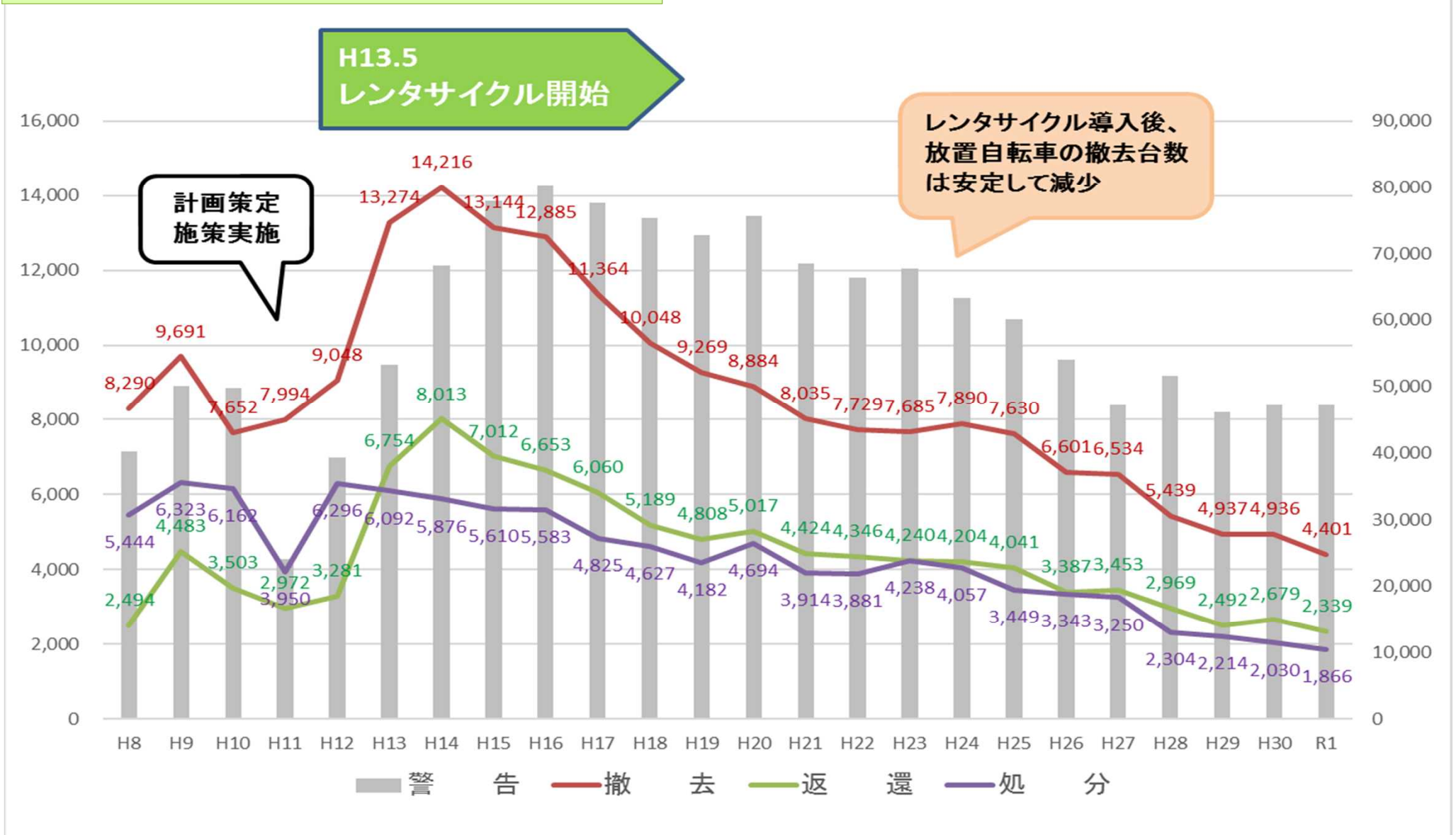


(穴吹シェアバイクの電動自転車)



⑤ 事業の成果

放置自転車(自転車・バイク)撤去・返還等状況





⑥ 放置自転車対策としてのレンタサイクルの有効性

レンタサイクル事業を実施した結果、

- 放置自転車の台数は減少
- 市内中心部の限られたポート数で、自転車の総量のコントロールに成功



**放置自転車対策と共に、
近距離移動の利便性向上としても
有効な事業**

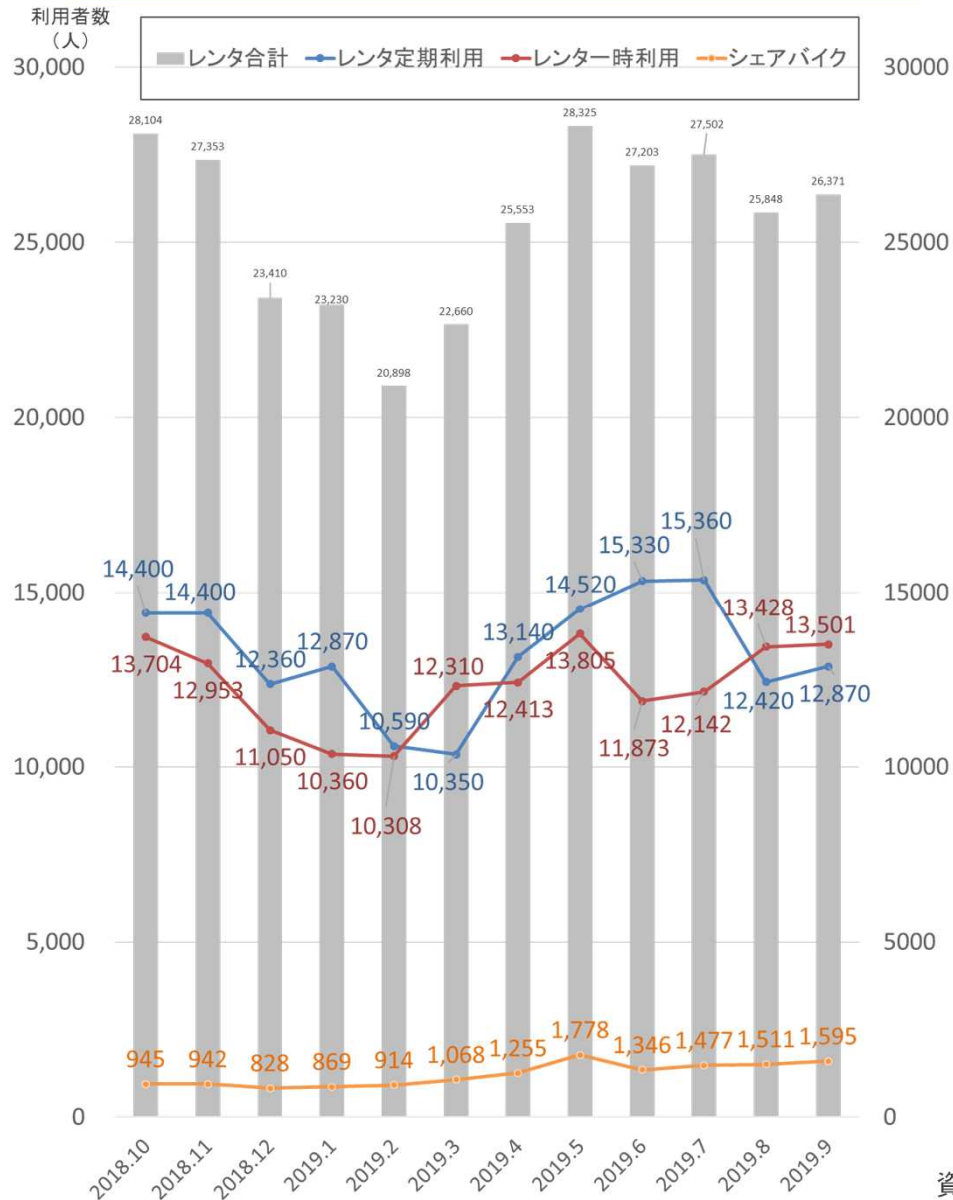
事業を大幅に見直した場合

- 放置自転車が増加する懸念
- 別の放置自転車対策の必要性



⑦ 民間事業者の参入

レンタサイクル・シェアバイク月別利用者数



シェアバイク利用状況から

- ビジネスモデルとしては厳しい状況と思われる
- 民間事業者が管理・運営する施設利用者による利用が見て取れる



民間事業者としては目的を達している

本市レンタサイクル事業との関係性

定期利用	レンタサイクル
一時利用	レンタサイクル + シェアバイク

資料) 穴吹ハウジングサービス提供データより作成



⑧ レンタサイクルの必要性和目指すべき姿

- レンタサイクル事業は、**放置自転車対策として有効**であり、今後も民間事業者の参入を踏まえ、その動向を注視しながら**継続する**

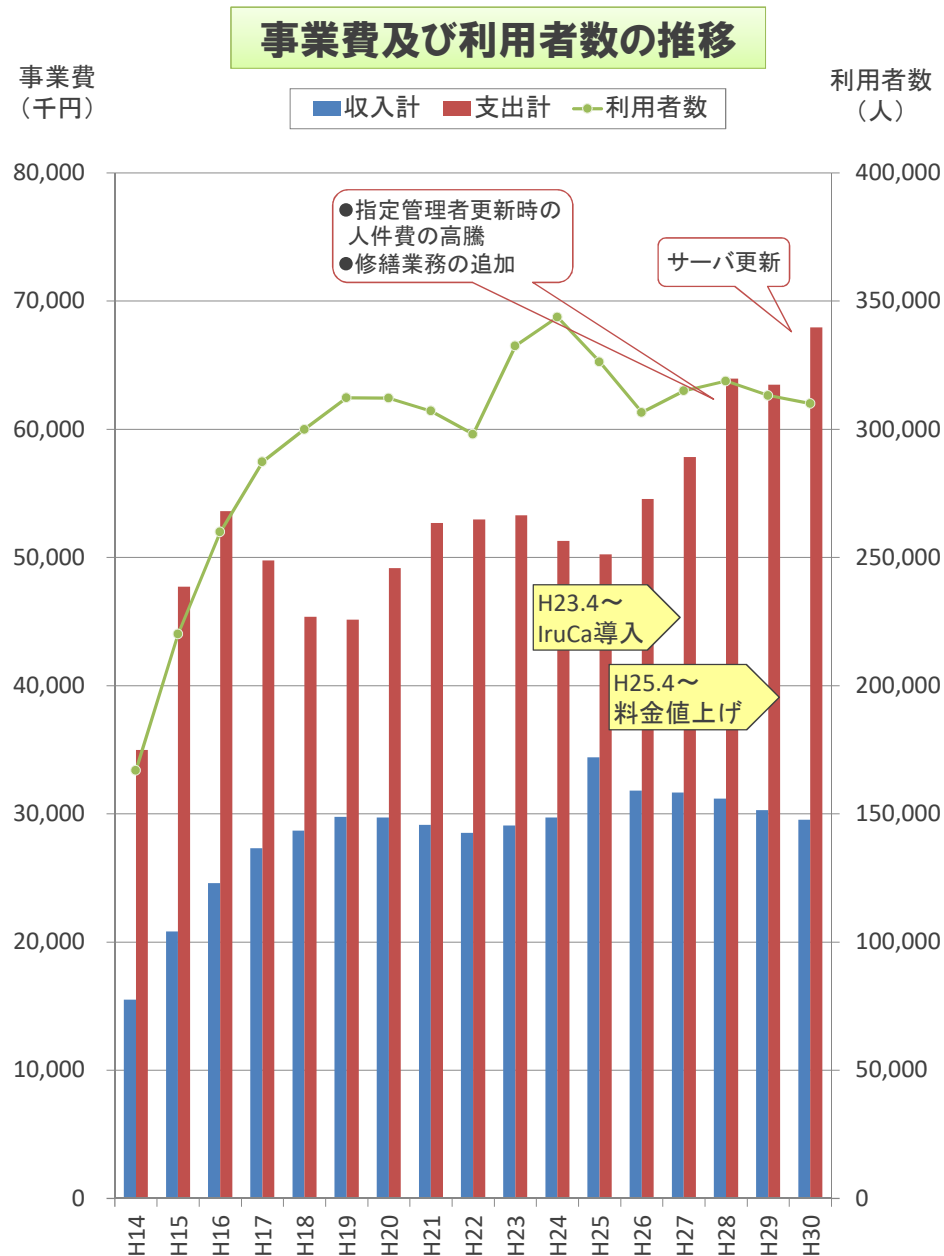
一方で

- 今後のレンタサイクル事業の展開に当たっては、収支の改善のため、見直しが必要

システム更新に合わせて、収支バランスの適正化、特に、ランニングコストの見直しに取り組む



⑨ 収支状況



◆ 人件費の高騰等による、委託料増加

➡ 支出は増加傾向

◆ 収支改善を目指し、H25に利用料金を
値上げしたが、

➡ 収入は減少傾向

★ 現行システムの更新時期までに
収支の見直しが必要な状況



⑩ 収支バランスの適正化

レンタサイクルについては、**管理システム及び機器の更新が必要な時期**

そこで

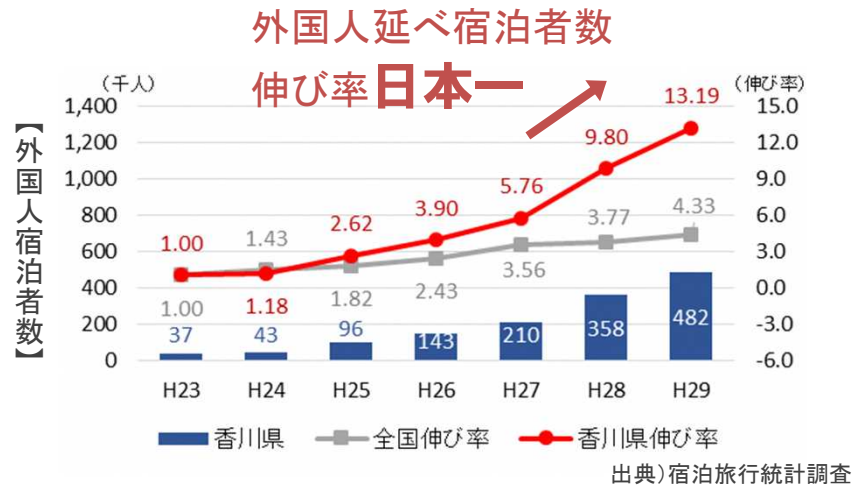
レンタサイクルのシステム等、機器更新について、

- ① **他モードとのデータ連携を図るとともに、**
- ② **指定管理者の更新に併せ、管理手法とセットで見直し、支出の改善を図る**



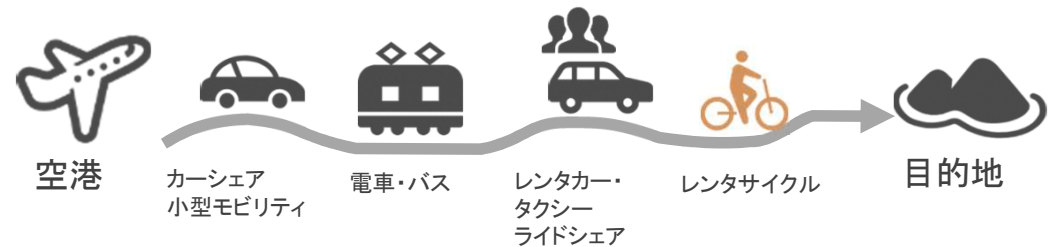
⑪ 収入増の取組(インバウンド、Maasへの対応)

インバウンドへの対応



MaaSに向けた対応

情報の一元化による
目的地までのシームレスな移動



● 交流人口の拡大

- 香川県への観光入込客数は増加傾向
- 特に外国人の増加が著しい

● モード間の情報連携不足

- 効率的なルート・手段の選択不可

● 移動動態が不明

- 目的地・手段の把握が不可

今後の展開

新システムにより他モードとのデータ連携を図り、
公共交通とレンタサイクルがつながる情報を提供

■ リムジンバスとレンタサイクルのセット販売



■ レンタサイクルを組み込んだ旅行パッケージの販売



⑫ 支出の抑制

現時点での方向性

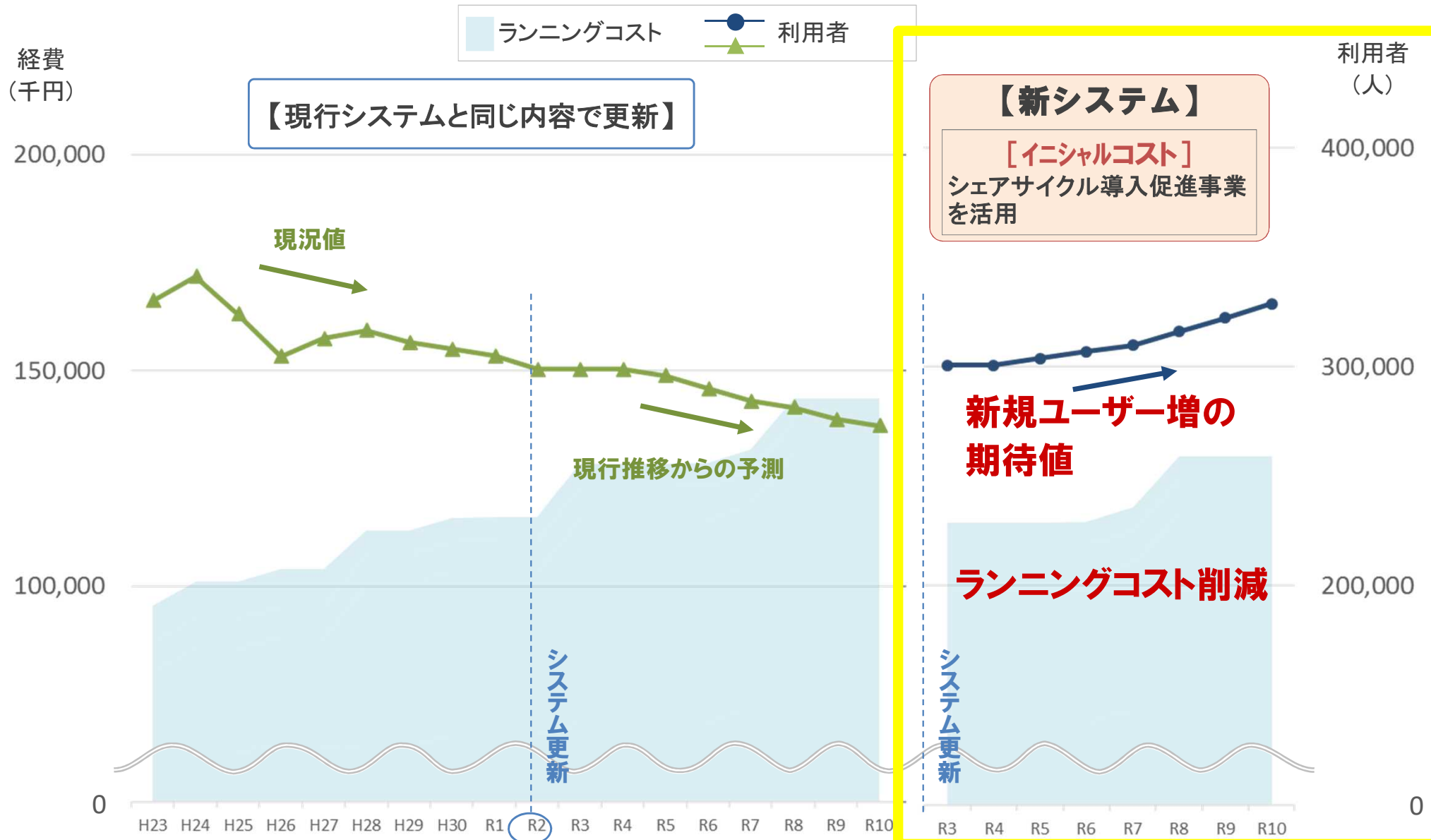
	現行システム	新システム(案)
利用申込方法	対面申込 ●書面手続きによる対面登録 ●紙の利用証発行	スマートフォンでの登録 モバイル申請により書面手続き不要 ●多言語化にも対応 ➢対応人員の削減
決済方法	現金＋キャッシュレス ●現金決済 ●IruCa決済	全キャッシュレス化 ●登録した決済方法によるモバイル決済 ➢金銭管理コストの削減、故障対応の軽減 ➢利用促進施策の付加
管理方法	専用サーバによる管理 ●庁内に管理サーバ設置 ●専用PCによる管理	データセンターによるクラウド管理 ●庁内管理サーバ・専用PC不要 ●リアルタイムな台数情報の発信 ➢利用者による自主的な入出庫 ➢車両の適正配置作業を削減

民間事業者との連携についても、将来的な方向性を共有しながら、新しい事業モデル構築を進めていきたい。



⑬ 将来推計

レンタサイクル事業等のランニングコスト及び利用者の将来推計





⑭ 現在の取組状況

スケジュール

- ・令和4年度からの新システム稼働を目指し、シェアサイクル導入促進事業を活用して取り組んでいる状況
- ・現在、システム更新業務の委託業者を選定し、協議している。

協議の内容

○管理経費削減の手法

- ➡管理経費の多くを占める人件費削減のため、利用者と対面で行っている業務や、管理手法の見直し

○利用者の利便性向上

- ➡電動自転車の導入
- ➡時代のニーズに即した利用申請や支払方法の導入

○他モードとの連携

- ➡事業者との協議を進めている

高松市の進めるまちづくり

「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考えの下、鉄道を基軸としたバス路線の再編により、持続可能な公共交通ネットワークを再構築し、集約されたまちを公共交通で繋ぐ。





ご清聴ありがとうございました。